

しべちゃ町の未来を創る：【子どもたちの教育環境の充実・将来を担う次世代の育成】取り組みの紹介 ～ 学校給食牛乳供給支援事業 ～

①事業の目的・概要



【解決したい課題】

- 町内で生産された新鮮な生乳を活用した「しべちゃ牛乳」を学校給食に提供することにより、児童生徒の標茶町への愛着・食育・地産地消意識の向上を図りたい
- 「しべちゃ牛乳」を消費することにより、ブランドの維持に繋げたい

→学校給食へ提供する「しべちゃ牛乳」の加工費と各学校への運搬費を町と地元JAが補助する。

②事業の指標・成果

【令和7年度の成果】

子どもたちの「基幹産業である酪農への理解」「故郷への愛着」が醸成された

③事業総評・課題

【令和7度の振り返りと今後の展望】

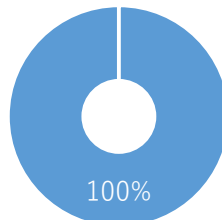


学校給食用の牛乳を安全・安心な地元産生乳である「しべちゃ牛乳」とすることにより、本町の基幹産業である酪農への理解、子どもたちの故郷への愛着が図られており、継続した事業実施が必要。

今年度の展望：継続して学校給食牛乳供給支援を行う。

④事業費の内訳

【令和7年度】



■ 負担金

事業費計：1,211千円

うち912千円をふるさと納税基金より充当